

講師のプロフィール



かた やま ひろ こ
片 山 弘 子

- 1951年 北海道勇払郡鵒川町に生まれる。
- 1983年 ウタリ生活相談員になり同時に北海道ウタリ協会鵒川支部及び鵒川アイヌ文化伝承保存会に入会する。

そのころから、アイヌ民族文化・アイヌ語にふれ、興味を持ち、その後、新井田セイノフチよりアイヌ語を教えてもらう。

協力者の紹介



あら い だ
新 井 田 セ イ ノ

- 1917年 北海道静内郡静内町に生まれる。
- 1919年 北海道勇払郡鵒川町へ移住
- 1992年 鵒川アイヌ語教室講師となり現在に至る。
- 1995年 北海道文化財保護功労者賞、鵒川町文化賞受賞
- 2001年 アイヌ文化賞受賞(財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構)

さ とう とも み
佐 藤 知 己

北海道大学大学院文学研究科助教授

【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

このテキストで用いられているすべてのアイヌ語の例文は、鵒川方言の話者である新井田セイノ氏からご教示いただいたものです。

このテキストで用いられているアイヌの語カタカナ表記、ローマ字表記は、『アコロイタク』(札幌、北海道ウタリ協会、1994)の表記に従っています。なお、アクセントは、オッカヨ okkayo「男」のように、二番目の音が「ッ」のようなつまる音であれば最初の音(「オ o」)が高く発音され、メノコ menoko「女」のように二番目の音がつまる音でなければ二番目の音(「ノ no」)が高く発音されるのが原則ですが、トノト tonoto「酒」のようにこの原則に反するものもあります。このテキストではこのような例外的な場合にのみアクセント記号を付けてあります。

Lesson. 14

魚を捕りに行きましょう 「私達は」の二つの言い方

例文

チェブ アコイキ クス パイエアン ロ .
cep a=koyki kusu paye=an ro.
魚 私達が捕る ために 行く・私達が ましょう (= 魚を捕りに行きましょう。)

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
ア a=	私達が	目的語を必要とする動詞（他動詞）の場合に使います。 場合によっては「私達は」と訳したほうが良い場合もあります。
アン =an	私達が	目的語を必要としない動詞（自動詞）の場合に使います。 場合によっては「私達は」と訳したほうが良い場合もあります。
クス kusu	ために	
コイキ koyki	捕る	
チェブ cep	魚	
パイェ paye	行く	主語が複数の場合に使われる形（複数形）です。単数形はアッパ arpa です。
ロ ro	~ましょう	勧誘を意味する終助詞です。

アイヌ語の解説

「私達が（は）」は、動詞の前にア a= を付けるか、動詞の後にアン =an を付けることによって表されます。ア a= とアン =an は、その動詞が**目的語を取らない動詞（自動詞）**であればアン =an、**目的語を取る動詞（他動詞）**であればア a= を付ける、というようにはっきりと使い分けられます。コイキ koyki は「~を捕る」のように何か目的語を必要とする動詞なので他動詞です。従って、「私達が捕る」は、コイキアン koyki=an ではなく、アコイキ a=koyki となります。これに対して、パイェ paye 「行く」は、目的語を必要としない自動詞なので、「私達が行く」はパイェアン paye=an となり、アパイェ a=paye とはなりません。なお、単数のク ku=「私が（は）」は、自動詞にも他動詞にも使います。また、「君が（は）」、「君達が（は）」を意味する形も、自動詞、他動詞両方に使うので、結局のところ、「私達が（は）」だけが**自動詞と他動詞とで形を変える**、ということになります。

例題 次の空白に合う言葉(人称接辞)を入れて発音して下さい。

チェブ [] コイキ クス パイエ [] ロ.
cep [] koyki kusu paye [] ro.
魚 私達が 捕る ために 行く・私達が ましょう (= 魚を捕りに行きましょう。)

MEMO

アイヌ文化の紹介

儀式

カムイノミについて

カムイノミは、生活の節目(新年、収穫期など)や、改まってカムイに届けたい思いがある時に、カムイに感謝したり祈願すること。

カムイノミを行なう儀式の主なものには次のようなものがあります。

- ・イオマンテ ～クマやシマフクロウなど生活と信仰のうえで重い位置を占めるカムイの魂を天上に送り返す儀式。
- ・通過儀式 ～誕生・成人・結婚・死に伴う儀式。
- ・イチャラパ ～先祖を供養するための儀式。



Lesson. 15

食べなさい

「食べる」の二つの言い方（自動詞と他動詞）

例文

1 イペ ヤン .
ipe yan.
食べる なさい (= 食べなさい。)

2 オハウ エ ヤン .
ohaw e yan.
おつゆ 食べる なさい (= おつゆを食べなさい。)

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
イペ ipe	食べる（自動詞）	目的語を取らない自動詞です。「食事する」のように訳すことができます。
エ e	食べる（他動詞）	目的語を必要とする他動詞です。
オハウ ohaw	汁、おつゆ	実の入ったおつゆのことを指します。
ヤン yan	～なさい	

アイヌ語の解説

目的語を必要としない動詞を自動詞、目的語を必要とする動詞を他動詞ということは Lesson 14 で学びました。日本語は自動詞、他動詞の区別にあまり敏感ではありませんが、アイヌ語はこの区別に非常に敏感です。極端な場合、動詞の中には、**意味は似ていても、一方は自動詞なのに、もう一方は他動詞、ということもあるので、ある動詞が自動詞なのか他動詞なのか、常に注意が必要です。**例文のように、イペ ipe は「食べる」は「食べる」でも、目的語を取らない自動詞（「食事する」に当たる）ですが、エ e は「～を食べる」という目的語を必要とする他動詞です。従って、オハウ エ ohaw e 「おつゆを食べる」は言えますが、オハウ イペ ohaw ipe とは言えない、ということに注意して下さい。自動詞と他動詞の区別をマスターするのは大変ですが、基本的な動詞から少しずつ覚えて行きましょう。

例 題 イペ ipe とエ e のどちらを入れたら良いでしょうか(両方とも意味は「 食べる 」)

オハウ [] ヤン .

ohaw [] yan.

おつゆ 食べる なさい

(= おつゆを食べなさい。)

MEMO

アイヌ文化の紹介

儀式 鵒川のイチャラパ

イチャラパとは、i-carpa 「もの・ばらまく」という意味で死者（先祖など）を供養するため食べ物をまく行為を言います。アイヌ民族はお墓参りをしなかったと言われていました。

イチャラパの仕方も地方によって違いがあります。イチャラパは女達が行います。他の地方では、一人一人がイナウをささげ行いますが、鵒川では、イナウは、一本ささげそのコタンのエカシの名前を言い、その人に食べ物などを託し、みんなに分け与えてもらいます。イチャラパをする時は食べ物を半分に割ったりして自分も食べながら行います。



Lesson. 16

お椀が一つあるよ

「ある」の二つの言い方（動詞の単数形と複数形）

例文

1 イタンキ シネブ アン ナ .
itanki sinep an na.
お椀 一つ ある よ (= お椀が一つあるよ。)

2 タンパ アナクネ シリポプケ クス ムシ ポロンノ オカ シリ .
tanpa anakne sirpopke kusu mus poronno oka siri.
今年 は 暖かい ので 蠅 たくさん いる 様子
(= 今年は暖かいので蠅がたくさんいるなあ。)

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
アナクネ anakne	～は	
アン an	ある（単数）	
イタンキ itanki	お椀	
オカ oka	ある（複数）	
クス kusu	ので	
シネブ sinep	一つ	
シリ siri	有様、様子	感嘆文を作ります（Lesson 13 参照）
シリポプケ sirpopke	暖かい	
タンパ tanpa	今年	
ナ na	～よ	
ポロンノ poronno	たくさん	
ムシ mus	蠅	

アイヌ語の解説

例文のように、アン an は「ある、いる」という意味ですが、オカ oka も「ある、いる」という意味です。アン an は主語が単数の場合、オカ oka は主語が複数の場合に用いられます。Lesson 8 で「切る」という動詞に単数形と複数形の区別があることを学びましたが「ある」を意味する動詞にも単数と複数の区別があるわけです。なお、自動詞か他動詞かによって「複数」の意味も少し違います。「ある」のような自動詞の複数には主語の複数を表しますが、「切る」のような他動詞の複数には、目的語に関して複数回の動作が行われることを意味します。

例題 空白に合う言葉を入れて下さい。

	片仮名	ローマ字
ある（単数）	[]	[]
ある（複数）	[]	[]

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

アイヌ文化の紹介

儀式

カソマンテ（死者の身の回りのものを家とともに焼く儀式）

アイヌは死んだあとも向こうの国でこちらと同じように生活しているとも言われています。カソマンテは死者の身の回りのものを家とともに焼く儀式を言います。家と一緒に焼くのは、フチ（おばあちゃん）の時だけです。

エカシ（おじいちゃん）が亡くなった時は、エカシが生前していた仕事の道具などを送ります。今でも鵲川では小さい家を作り、死んだ人の身の回りのものを一緒に焼いて送っています。

カムイユカラ（神謡）

火の神の物語（１）

アテヤテンナ										
ateyatenna										
アテヤテンナ	カニ	アナクネ								
ateyatenna	kani	anakne								
	私	は								
アテヤテンナ	アペフチカムイ		クネ		ワ					
ateyatenna	apehucikamuy		ku=ne		wa					
	火の神		私はであっ	て						
アテヤテンナ	アコロ	ボン	チセ	エブンキネ	ワ	オカアン	キ	ワ		
ateyatenna	a=kor	pon	cise	epunkine	wa	oka=an	ki	wa		
	私の	小さな	家を	番し	て	い		て		
アテヤテンナ	シノ	ニシバ	アエコテ	ヒネ	オカアン		キ	ワ		
ateyatenna	sino	nispa	a=eko'te	hine	oka=an		ki	wa		
	真の	紳士と	私は結婚し	て	い			て		
アテヤテンナ	シネアントタ									
ateyatenna	sineantota									
	ある日									
アテヤテンナ	アエコテ		ニシバ							
ateyatenna	a=eko'te		nispa							
	私の		旦那は							
アテヤテンナ	メノコル	オルン	アラバ	ルスイ	セコロ	ハウエアン	キ	ワ	ソイネ	アクス
ateyatenna	menokoru	or un	arpa	rusuy	sekor	hawean	ki	wa	soyne	akusu
	女便所	へ	行き	たい	と	言っ		て	外に出る	と
アテヤテンナ	ヘンバラ	アン	ヤッカ	エク	シリ	カ	イサム	キ	ワ	
ateyatenna	henpara	an	yakka	ek	siri	ka	isam	ki	wa	
	いつになっ		ても	来る	様子	も	なく		て	
アテヤテンナ	イヨクヌレアン		クス							
ateyatenna	iyokunure=an		kusu							
	あきれた		ので							
アテヤテンナ	メノコル	オルン	オリバク	トゥラ	インカラナワ					
ateyatenna	menokoru	or un	oripak	tura	inkar=an	awa				
	女便所	を	遠慮し		見た	が				
アテヤテンナ	アエコテ	ニシバ	クリヒ	カ	イサム	キ	ワ			
ateyatenna	a=eko'te	nispa	kurihi	ka	isam	ki	wa			
	私の	旦那の	影	も	なく		て			
アテヤテンナ	アコロ	ボン	チセ	オカリ	インカラアン		ヤッカ			
ateyatenna	a=kor	pon	cise	okari	inkar=an		yakka			
	私の	小さな	家	のまわりを	見て		も			
アテヤテンナ	アエコテ	ニシバ	クリヒ	カ	イサム	キ	ワ			
ateyatenna	a=eko'te	nispa	kurihi	ka	isam	ki	wa			
	私の	旦那の	影	も	なく		て			
アテヤテンナ	アコロ	ボン	ヌブリ	オルン	インカラアン		ヤッカ			
ateyatenna	a=kor	pon	nupuri	or un	inkar=an		yakka			
	私の	小さな	山	を	見て		も			
アテヤテンナ	ヌブリ	オッ	タ	カ	アエコテ	ニシバ	イサム	キ	ワ	
ateyatenna	nupuri	ot	ta	ka	a=eko'te	nispa	isam	ki	wa	
	山	に	も	私の	旦那は	いなく			て	
アテヤテンナ	モシリバ	オルン	インカラアナワ							
ateyatenna	mosirpa	or un	inkar=an	awa						
	上手	を	見た	が						
アテヤテンナ	モシリバ	オッ	タ	カ						
ateyatenna	mosirpa	ot	ta	ka						
	上手	に	も							

アテヤテンナ ateyatenna	アエコテ a=eko'te	ニシパ nispa	イサム isam	キ ki	ワ wa				
	私の	旦那は	いなく		て				
アテヤテンナ ateyatenna	モシリケシ mosirkes	オルン or un	インカラアナワ inkar=an awa						
	下手	を	見た	が					
アテヤテンナ ateyatenna	モシリ mosir	オッ ot	タ ta						
	この世界	に							
アテヤテンナ ateyatenna	メノコ menoko	チロンヌブ cironnup	イワン iwan	チロンヌブ cironnup	アン an	キ ki	ワ wa		
	女狐が、		六匹の狐が		い		て		
アテヤテンナ ateyatenna	メノコル menokoru	オロ or	ワ wa						
	女便所		から						
アテヤテンナ ateyatenna	アエコテ a=eko'te	ニシパ nispa	エイッカ eikka	ワ wa	アラパ arpa	ヒネ hine	アエシノッ a=esinot		
	私の	旦那を	拉致し	て	行っ	て	慰みものに		
	コロ アン kor an	シリ siri	アヌカラ a=nuka'r	キ ki	ワ wa	イルシカ iruska	ネ マヌ ne manu	ブ アキ p a=ki	ワ クス wa kusu
	して いる	有様を	私は見	て		怒りを		覚え	た ので
アテヤテンナ ateyatenna	チョラウキアン corawki=an	アラバアン arpa=an	キ ki	ワ wa					
	やっつけた	行っ		て					
アテヤテンナ ateyatenna	イワン iwan	チロンヌブ cironnup	メノコ menoko	チロンヌブ cironnup					
	六匹の	狐	女	狐を					
アテヤテンナ ateyatenna	アトイコトタ a=toykotota	アムンコトタ a=munkotota	アライケ a=rayke	ワ wa	イサム isam	キ ki	ワ wa		
	切り刻み	切り刻み	殺し	て	しまっ		て		
アテヤテンナ ateyatenna	オロ oro	ワ wa	スイ suy						
	それから								
アテヤテンナ ateyatenna	アエコテ a=eko'te	ニシパ nispa	オルン or un	インカラアナワ inkar=an awa	アエコテ a=eko'te	ニシパ nispa			
	私の	旦那	を	見る	と	私の	旦那が		
	オアンライ oanray	シリ siri	アヌカラ a=nuka'r	キ ki	ワ wa				
	息絶えている	有様を	私は見	て					

アイヌ語の 解説

新井田セイノさんがお母さんから子どもの頃にお聞きになった火の神様の物語です（少し長いので、後半はLesson21で学びます）。この物語は「アテヤテンナ」という繰り返しの言葉を付けてリズムカルな調子で語られていますが、このような繰り返しの文句と共に語られる物語をカムイユカラ kamuyyukar 「神謡（神々の叙事詩）」と呼んでいます。他にも色々な神様が主人公になる神謡があります。神謡に限らず、アイヌの物語一般に当てはまることですが、神様が自分の体験を語る、一人称体になっています。また、多くの場合、「私が（は）」にはク ku= ではなく、ア a= アン an= という形が用いられるのもアイヌの物語一般に当てはまる特色です。

アイヌ文化の紹介

オマンヌパラ（死者の国への入り口）

鵜川にはこのオマンヌパラが二か所あったと言われています。その一か所は、今でも見れますが、ここは昔、鉄道工事のため、崩され、今は僅かにその痕跡を止めるに過ぎません。穴の入り口は狭くて人間が這って通れるくらいですが、少し行くと広くなって、明るくなり、そこにはこちらと同じような景色があり、そこには、以前に死んだ人達がいて、生活してると言われています。



Lesson. 18

お椀を取って下さい

「私を(に)」の言い方(目的格人称接辞)

例文

イタンキ	ウク	ワ	エンコレ	ヤン .
itanki	uk	wa	en=kore	yan.
お椀	取る	て	私に与える	なさい

(= お椀を取って下さい。)

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
イタンキ itanki	お椀	
エン en=	私を(に)	場合によって「私を」、「私に」どちらの意味にもなります。
ウク uk	取る	
コレ kore	与える、くれる	ワ エンコレ ヤン wa en=kore yan で「~して下さい」という丁寧な命令を表します。
ヤン yan	~なさい	
ワ wa	~て	

アイヌ語の解説

「私が(は)」という意味はク ku= で表されることは既に学びましたが、「私を(に)」という意味は、エン en= という、ク ku= とは全く違う形で表されます。ク ku= 「私が(は)」は主語を表すので主格人称接辞と呼ばれますが、エン en= 「私を(に)」は目的語を表すので目的格人称接辞と呼ばれます。なお、テキストには出てきませんが、「私達を(に)」はイ i= となります。ちなみに、「君が(は)」をエ e= ということは、Lesson 1 で既に学びましたが、「君を(に)」もエ e= と言います。また、テキストには出てきませんが、「君達が(は)」はエチ eci= ですが、「君達を(に)」もエチ eci= のままです。結局、「が(は)」と「を(に)」の形の区別があるのは、「私」、「私達」の場合だけ、ということになります。ちなみに、主語や目的語が三人称の場合は動詞に何もつける必要はありません。

例題 空白に当てはまる人称接辞を入れなさい。

	片仮名	ローマ字
私が（は）	ク	ku=
私を（に）	[]	[]
私達が（は）（自動詞）	アン	=an
私達が（は）（他動詞）	ア	a=
私達を（に）	イ	i=
君が（は）	エ	e=
君を（に）	エ	e=
君達が（は）	エチ	eci=
君達を（に）	エチ	eci=

MEMO

アイヌ文化の紹介

鵒川アイヌ伝説 父母の呼称伝説

日高地方では父親をミチ、母親をトットと呼んでいるところもありますが、鵒川では父親をイヤボ、母親をハボと呼んでいます。それには次のような伝説があります。

昔、日高門別の奥のモベツ部落のある老人が山猟りにモベツ川の水源に入って行ったところ、岩崖のところに大きな蛇が石を咥えてのぼって行くので見ていると、それが岩穴の中に入ろうとするので、蛇が穴に入るのは非常に悪いことなので、あわてて蛇を引き出そうとしましたが、間に合わないで入ってしまいました。岩穴なので掘る事もできないで老人はぼんやりと傍に立っていると、穴の中から「ハボ ハー、イヤボ ハー、ハボ ハー、イヤボ ハー」と騒ぐ声がするので、漁師は外から声をかけて「お前達はお母さんをハボ、お父さんをイヤボと言って喜んでいるが、今石を咥えて入って行ったのはお前達の親なので喜んでいるのだろう。俺達もこれからはお前達と同じように、お母さんをハボ、お父さんをイヤボと呼んでお前達と親類になるから、悪い事のおきないようにしてくれ」そう言うのと急に穴の中の騒ぎが静かになって、何の物音もしなくなったので、蛇が承知してくれたのだと思って村に帰り、村の老人達を集めて相談し、それから父親をミチと言わずイヤボと言ひ、母親をトットと言わずハボと言うようになりました。

（鵒川町チンコタン 片山カシンテアシ エカシ伝）

Lesson. 19

これを君にあげるよ

「私が君を(に)～する」の言い方(複合人称接辞)

例文

タンペ	エチコレ	ナ .	
tanpe	eci=kore'	na.	
これ	私は君に与える	よ	(= これを私は君にあげるよ。)

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
エチ eci=	私が(は)君を(に)	
コレ kore	与える、あげる	
タンペ tanpe	これ	
ナ na	～よ	

アイヌ語の解説

既に学んだように、ク ku= が「私が」、エ e= が「君を(に)」という意味なので、「私が君にあげる」は、クエコレ ku=e=kore という形になりそうなものですが、そうはなりません。「私が君を(に)」という意味を表すには、クエ ku=e= ではなく、エチ eci= という不規則な形を使います。エチ eci= は、これ全体で「私が君を」という意味を表すので、エとチに分けたりすることはできません。また、「君達が(は)」、または「君達を(に)」を意味するエチ eci= と同じ形ですが、意味は全く違うので、全然別の要素です。大変不規則な形なので特に注意が必要です。よく使う形式なので覚えて下さい。

タンペ	[		]	コレ	ナ .
tanpe	[		]	kore	na.
これ		私は君に		与える	よ

(= これを私は君にあげるよ。)

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

昔の日高には、河童がいまいませんでしたが、十勝川に水の神、ワッカウシカムイと一緒に天から下されて十勝に多くいました。それが次第に日高にも来るようになり、ミントウチカムイと言われ、背丈は三才位の子ども程度で、頭には毛が